

## 創業者（難波徹・ナンバトオル）プロフィール

- ◎ 1955年 4月 神戸生まれ 甲南中学高校卒
- ◎ バナチルドレン1975 代表
- ◎ ミズノテニスアドバイザー
- ◎ ミズノテニスプロ会 副会長
- ◎ 京都大学テニス部 強化委員会アドバイザー

- ・元 日本プロテニス協会 理事
- ・元 甲南大学高校中学テニス部 総監督
- ・元 京都大学テニス部 監督
- ・元 京都国体指定ヘッドコーチ
- ・元 保護司

甲南中学入学と同時に父親の家族会員として神戸ロ-ンテニス倶楽部に入会 神戸ロ-ンテニスジュニアクラブにも在籍（第1期生）

中学1年の時、小幡陽子（高木陽子）さんに、初めて、ともにテニスを教わる

1人で壁打ちをしていた私に「一緒に入らない?」と、何かのレッスンのようなものに誘ってくださった（当時、この方が誰とは知らず・・・）

中学3年の頃、日本の大人が遠く感じ、価値観のズレに気づき、やがて違和感に、そして、自分の信じる感覚で捉えようとする覚悟が生じ反発心を抱く

そんな中、ダブルスペアのアメリカ人の友人たち（デラニーファミリー）と日々テニスをする 「負けても負けても起ち上がり!」は、友人の父親（アメリカ神戸総領事）がくれた言葉

先生や一部の大人以外への反発や不信感は続き、日本の文化が自分に合わないと思ひ込む

高校1年の時、1年先輩の西尾茂之さん（後に単複の全日本チャンピオン:日本代表）の影響を受けテニスに真面目に向かうようになる

高校2年の時、期末テストを拒否（今でいう不登校に近い）のため落第 ※当時、教育現場では私のようなタイプへのサポートは無かった

高校3年の時、甲南大学推薦テストを白紙で提出（当時、どこか大学への思いも無かった）

高校卒業後、テニスのためと言いながら、日本に馴染めず、オーストラリアのメルボルンへ

受け入れてくださったオーストラリア人家族や身元引受人の商社支社長の人柄から、大人への接し方が変わっていく

当時、オーストラリアンオープンが行われていたク-ンテニスクラブで練習しながら

クラブチーム対抗戦に出場したり、ク-ンのヘッドコーチに同行して、学校や周辺テニスクラブのこどもたちへのコ-チングを手伝う

9か月後、1975年10月に神戸にて、後輩の白江正治と中舎敏明（2人とも当時 甲南大）と、今でいう「モグラ」でテニス業をスタート

神戸ロ-ンテニス倶楽部の支配人のサポートで倶楽部の貸しコートを中心に活動 テニスセンスに恵まれた小学生（伊藤和子:後にJOP S9位 D2位）のコ-チングも始める

1977年、複数のオファーがあったが、テニスクラブ京都プリンスとヘッドコーチ契約 神戸と京都を拠点とする

高校生の時、竹内譲治先生（竹内映二の父親）が翻訳のテニスの海外専門誌を隅から隅まで読んでいたが

京都を拠点にした事で、竹内先生と直に会う事で、こどもたちへの接し方に影響を受ける 私も含め、小中高時代は、視野が狭く、少しの事で影響を受ける

私は、竹内先生と出会った事をきっかけに、こどもたちに接する事に楽しみを見出すようになる

テニスクラブ京都プリンスでは、益田泰樹（当時 同志社大）とも出会い、右腕左腕を得る ※白江正治は企業に就職

運営は2人に任せる ※カミさん（難波祐子:当時 同志社大）とも出会う

1978年、ミズノ株式会社とアドバイザー-プロ契約 ミズノCMに起用される

ミズノの部長やテニス販促の方々と出会い、社会人やプロコーチとしての基本を教わる

ほぼ同時期に、ミズノ株式会社とアドバイザー-プロ契約をなされた森田常樹さん（モリタスポーツ-サービス会長）からも、多くの事を教わっていく

1980年、ミズノ株式会社のサポートによる1つ目の契約となる北白川テニスクラブと契約

このクラブは正会員120万（ウエイティング16名）の運営が難しいクラブで

川西章二（当時 クラブ理事長:川西倉庫社長）や高坂正堯（当時 正会員:日本の頭脳）両氏には、とても助けられる 水谷憲一（当時 同志社大）とも合流

その後、次々とテニス施設と契約（契約施設一覧は別途）

ツア-コ-チも、当時の後援会長の経済的サポートとミズノ株式会社のサポートで、海外国内のト-ナメントに帯同を始める（帯同地域は後述）

ツア-コ-チとして活動中、現地では、小浦猛志さん（当時 伊達公子に帯同）に、コ-チングについて教わる

神戸ロ-ンテニス倶楽部、甲南テニス部、オーストラリア、テニスクラブ京都プリンス、北白川テニスクラブ、なんばとおるプロテニスチーム・ベースキャンプ、ミズノテニスプロ会

それぞれの時代や場所で、自分勝手な私を静かに見守ってくださった方々のお蔭で、この仕事を始める事ができ

さらに、ミズノ株式会社に育てていただき、お客様やチームの仲間達の力強いサポートで 今に繋がっている

### 【帯同地域など 約8年間】

■ グランドスラム

■ WTA 10000ドル〜50000ドル

フレンチオープン オーストラリアンオープン

キ-ビスケイン ウェストバムビー-チ ニューポート タンパ シ-ブルック フィラデルフィア ブラデントン ヒルトンヘッド チャ-ルストン

ファイアットビル ノックビル ルイビル オ-ガスタ グリンボロ バルセロナ パリ ウェリントン メルボルン タイペイ 他